

参加費無料

小児期からの

がん予防教育

日時

平成26年**9月20日(土)**
13:00~15:00

会場

聖徳大学生涯学習社会貢献センター
(聖徳大学10号館) 14階
千葉県松戸市松戸1169
JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩1分

定員

80名(事前申込不要)

後援

松戸市教育委員会、市川市教育委員会、
柏市教育委員会、取手市教育委員会

講演者

加治 正行
(静岡市保健所長)



講師のプロフィール

1979年京都大学医学部卒業。
小児科専門医として、京都大学医学部附属病院、静岡県立総合病院、静岡県立こども病院などに勤務した後、2010年より現職。子どもたちをタバコの害から守るための研究や活動を続け、静岡県立こども病院に子ども専門の禁煙外来を開いて、タバコをやめられない子どもたちの治療に当たる。
現在は保健所長として、市民の健康を守る仕事に取り組んでいる。

内容

がんは誰もがかかる可能性のある身近な病気で、今では日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっています。

がんは予防が第一。日常生活上のさまざまな注意が、がんの予防に役立ちます。そして、がんを予防するための工夫は、大人になってから意識するのではなく、子どものころから実践することが大切です。がん予防のために、子どものころからできることは？ さまざまデータを元にお話ししたいと思います。

また、がんの最大の原因・タバコが子どもたちに及ぼす影響と、タバコのやめ方(禁煙治療)についてもお話しします。

お問い合わせ ▶▶▶

聖徳大学児童学研究所(知財戦略課)

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話：047-365-1111 (大代表)

ホームページ：http://www.seitoku.ac.jp/chizai/

